

# 令和6年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

## 算数

	指導上の課題の分析	授業改善の具体的方策	評価（成果と課題）
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的に、知識・技能と比較して、思考・判断・表現は低い。</li> <li>○ノートに書くことに困難を覚えている児童が多い。</li> <li>○文章題において、もとにする数と何個分の数の区別ができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○根拠をもって筋道立てて自分の考えを表現できるように、既習の振り返りを適切に行いながら授業を展開する。思考の過程を、言葉、図、数、式、表、グラフなどいくつかの方法で表現させ、相互を関連付けて説明できるようにする。</li> <li>○表や筆算などの計算問題はプリントを配布する。</li> <li>○文章題でのもとにする数×何個分というかけ算の考え方を大切に指導していく。</li> </ul>	
4 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的に、知識・技能の上位層が比較的少ない。</li> <li>○思考・判断・表現の上位層も少なく、下位層が多い。</li> <li>○学校を休んだところの知識が抜けていて、分からないと感じている児童が見受けられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意図的・計画的な学習計画を立て、計算技能等を十分に習熟できるようにする。</li> <li>○授業の中で既習の振り返りを適切に行うとともに、思考の過程を大切にできるような価値付けながら丁寧に問題に取り組ませ、思考力・判断力・表現力の向上を図る。</li> <li>○振り返りの時間を授業の最初に取り入れる。また、単元のたしかめ問題の際には、先に要点を振り返り、知識に漏れや思い違いがないか確認する。</li> </ul>	
5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的に、知識・技能、思考・判断・表現ともに上位層が多くいるが、下位層に対してのフォローが必要である。</li> <li>○自由に自分の考えを発表する積極性が見られるが、既習を間違えて活用しているところがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色々な考えを共有していく中で混乱が生じないように、既習の振り返りを適切に行う。（前提条件を統一する。）</li> <li>○発問により、間違いや新たな考えに気付くことができるようにする。</li> </ul>	

	指導上の課題の分析	授業改善の具体的方策	評価（成果と課題）
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全体的に、知識・技能、思考・判断・表現ともに上位層が多くいるが、下位層に対してのフォローが必要である。</li> <li>○指示を待つことが多く、自分たちで問題発見をしていこうという積極性にややかける。</li> <li>○単位をつけ忘れてたり、途中式を省略して説明不十分だったり、書き間違い、写し間違いが多くみられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の気付きや考えを大切にしながら、本時の目標に迫るような焦点化した発問をする。既習の振り返りを適切に行う。</li> <li>○できるだけ発表、発言の機会を多く設定し、集団で考えを練り上げることができるようにする。適切なクラス分けをし、気後れして発表する機会を失うことのないようにする。</li> <li>○日々の授業の中で適宜声掛けをし、自分の考えをほかの人に、説明したり図で示したりして、理解してもらえるように丁寧に問題に取り組めるようにする。友達の説明の仕方によかった点などを相互評価し、どうすればよいのかを考えることができるようにする。</li> </ul>	